

human

No256

2013/8

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「納涼祭」

- | | | |
|-------------|---------|--|
| 救急指定・労災指定病院 | さくら総合病院 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129
(0587)95-6711(代) |
| 老人保健施設 | さくら荘 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-96
(0587)95-6722 |
| 訪問看護ステーション | あすかビレッジ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)
(0587)95-8623 |
| ヘルパーステーション | あすかビレッジ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)
(0587)95-8026 |
| 居宅介護支援事業所 | あすかビレッジ | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内)
(0587)95-8027 |
| デイケアセンター | 御 嶽 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F)
(0587)95-8900 |
| 有料老人ホーム | 太郎と花子 | 愛知県丹羽郡大口町新宮1-10
(0587)95-0111 |



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: info@ijinkai.or.jp

幼少時代の思い出

ハートセンター長・循環器内科部長 久原康史

うだるような暑さが続いていますが、皆さんしつかり水分を摂っていますか。私は熊本出身ですが、あきらかに熊本より愛知の方が暑いのです。しかも蒸し暑く、暑さの質が違います。私も愛知にきて20年になり今年40歳を迎えました。いい機会ですので、愛知に出てくるまでの幼少期を振り返ってみていろいろと自己分析してみます。

自然と医療の話になる、そんな環境で育った。生まれは鶴で有名な鹿児島県出水市、父が出水中央病院に赴任中に生まれた。とり上げてくれたのは父の上司の先生で、ひどく酔っ払った状態でとり上げてくれたらしい。私が現在、無類の酒好きなのは生まれてすぐにアルコール臭を嗅いだからであるうか。その後しばらくして熊本県熊本市に引っ越した。兄がとてもやんちゃな性格であり、いつも兄にくっついて遊んでいた記憶がある。ある時、母と兄とで歩いて買い物に行く途中

に酔がって一人脇道に入った折に鶏に追いかけられたことがある。必死に逃げたが転倒してしまい膝を擦りむいたが、兄と母は大笑いしていた。今でもこの話はよく兄がするが、鶏に追いかけられている姿が忘れられないらしい。私が現在、無類の鶏肉好きなのはこの影響であるうか。

子供の時はあまり食べるのが好きではなかった。今では大好きだが特に野菜が嫌いだった。当時は野菜の青臭い匂いがたまらなく嫌で特にトマトが嫌いだったが、不幸なことに熊本はトマトの名産地である。小学校一年のときの担任の先生がとても厳しかった。給食を残すことを絶対に許さない先生だった。私はどうしても生の

トマトが食べられず、給食にでると昼休みの間ずっとトマトとにらめっこだった。さすがに掃除の時間になると先生も許してくれ、片づけていい許可がもらえたが、今度は給食のおばちゃんに「またあんたね。」と嫌味を言われた。今では野菜が大好きだが、未だに生のトマトだけは食べられないのはその影響であろうか。また、一年生のときなぜか一年間半袖で過ごした。熊本とはいえ真冬はさすがにとても寒く長袖を着たかったが、その厳しい先生が皆の前で褒めてくれたりするので長袖に替えるタイミングを完全に失ったかたちだった。家に帰ると急いでこたつに潜り込み鳥肌を擦った。二年生の冬はどうしようかと真剣に悩ん

だが、幸いなことに二年生になるときに八代市に引越した。勿論二年生の冬は長袖を着た。八代市に移り、当然最初は友達がおらず寂しい思いをしたが、突破口は野球だった。近所の公園で子供達が野球をしているところに入り、二人仲間にに入れてもらい、それからはずぐに友達が増えていった。そんなに野球が大好きではなかったが、兄の影響もあり小学校の部活動の野球部は4年生からであったところを無理言って3年生から入部した。ある時、監督の引率でユニフォームを着た状態で市内のホテルに連れて行かれたことがある。テレビ局が来ており、ニキビ跡がいっぱいひた際顔と体の大きい人が握手してくれサイン色紙をくれた。当時、西部ライオ

ンズに入団したての秋山幸二だった。田舎なのでテレビ中継は巨人戦しかなく、当時全く知らなかったのが、日本シリーズで活躍する姿をみて慌ててサイン色紙をサラララップで保護した。現ソフトバンクホークスの監督だが、私が現在無類のホークスファンであることはこの影響であろうか。ちなみに当時ライバル小学校に左打者で恐ろしい打球を打つ選手がいたが、現ホークスの松中信彦だったと勝手に思っているが証拠はない。また小学校6年生頃に洋楽に目覚めた。きっかけは海外アーティストによるチャリティーの "We are the world" だった。これも兄の影響だったがその当時からマイケルジャクソンやステイビー

ワンダーを聞くおませな子供だった。現在も音楽は大好きで、ロックやジャズなど何でも聞くが殆ど洋楽しか聞かない。ある時、お金を貯めてカセットテープがダビングできるラジカセを思い切って買った。しかし何故か兄が怒り、とり上げられて自分で買ったのにそれで聞けなかった。現在、スピーカーにもこだわり散財しているのはこの影響であろうか。

小学校3年生の一学期に昼休みに階段で転び、前頭部に裂傷を負ったことがある。頭なのでかなり出血し縫う必要があったので、実家の太った看護婦さんが迎えに来てくれた。父は当時開業医でありながら、熊本大学から応援を呼び胃癌の手術をやるなど地元では有名な外科

医であり、よく小さい私に手術で切り取った臓器を見せたり触らせたりさせてくれた。話は戻るが、実際縫われるとなると怖くなり屋上に隠れた。しかし見つかってしまい、父が嫌がる私を怒鳴りつけ、押さえつけて3針縫った。ちなみに同年2学期と中学2年のときも父に縫われる怪我をし、抵抗せず縫ってもらったが痛かった。小林豊副院長と違い、父が外科医なのに内科に進んだのはこの影響であろうか。

小学校時代までの記憶をたどり自己分析してみたが、かなり適当であることは許してもらいたい。この続きはまた機会があれば綴らせて頂く。



循環器内科 丹羽 亨

2月から愛知医科大学病院よりさくら総合病院循環器科へ赴任いたしました丹羽亨と申します。現在、月曜午後と火曜午前の外来、日々の病棟業務、カテーテル検査・治療などを担当させていただいております。この度、生まれ育った小牧市の近隣での医療に携わらせていただけるチャンスをいただき大変光栄に思っております。

さて今回原稿の依頼を受け、何を書いたらいいか少し悩んだのですが、研修医のころ循環器科を選択した経緯などを書かせていただこうかと思います。

厚生労働省の指示により自分が卒業した年度から医学部卒業後2年間の各科研修が必修となり、当時様々な科をローテイトし自分は何を選択すべきか悩んでおりました。もともと外科を志望していましたが、実際に研修を進めると、どの科も魅力的でした。中でも循環器科を研修していたころ心不全で苦しんで入院された方や、心筋梗塞で搬送されてきた患者さんがみるみる元気になられて歩いて帰って行く姿に感動し、また先輩医師の患者さんに対する真摯な姿勢などを見て、まったく考えていなかった循環器科への道に進むかどうか迷い始めていました。ただ、循環器科の扱う疾患の性質上、どうしても緊急性高いものが多く、夜間の緊急検査や治療、急変患者への対応など正直自分にやっていけるかどうか不安を感じていました。そんな折、出会ったのが当時何気なくレンタルしてきた黒澤明監督の赤ひげでした。内容は、みなさんご存じではあると思いますが、小石川養生所と呼ばれる医療施設へ長崎からやってきた若手医師の保本登が「赤ひげ」こと新出去定と出会い、少しずつ成長していくというお話。ちなみに主人公の保本は若かりし日の加山雄三さんが演じており、なかなかのイケメンです。主人公は自分のあずかり知らないところでの人事により養生所で勤務することになり当初は赤ひげへ反発していたのですが、徐々に赤ひげの患者さんに対する真摯な態度や、患者さんの病気だけを診療しているのではなく、できるかぎり患者さんの抱えているその他の問題をも解決しようと試みるなど、その真摯な対応に感銘を受け(途中赤ひげが複数の悪人をポコポコにするシーンはどうかと思いましたが)、最後は養生所で働き続けることを志願するほどになります。この映画の影響もあり、最終的に自分のやりたいことをやろうと決心し循環器内科を選択しました。映画のラストに主人公が赤ひげに「後悔するぞ」と言われ、「試してみます」と答えていたのを今思い出すと、自分は今のところ後悔しないようなので結果として選択は間違っていなかったように思います。ただ、まだまだ未熟なところも多く、原稿を書きながら改めて気が引き締まった気分でした。当院のハートセンターも今年から新設されたばかりで、まだまだ認知も十分されておらず症例も十分満足いくものではありません。少しずつではありますが、いつか努力が実を結び、この地域の患者様の信頼を得られるように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



看護部3b病棟師長 山口 さとみ

はじめまして。この度7月より、コンドル館3b病棟の師長として入職いたしました、山口さとみと申します。

私は岐阜県の生まれ育ちで、結婚を機に大口町へ移り住み19年になります。これまでに、公立病院での病棟勤務、ICU勤務の他、民間の医療機関、高齢者施設、学校など多くの医療・教育現場で務めてまいりましたが、いつかは地元で地域医療に貢献したいと考え、縁あってさくら総合病院で勤務させて頂くこととなりました。

看護師の資格取得後は地元の市民病院で看護実践の基礎を培ったのですが、当時を振り返ってみると「命と向き合い、病と闘う」多くの患者さん・家族を前に、熱血医療チームに恵まれ、悪戦苦闘の新人時代だったことを懐かしく思い起こされます。緊迫した状況下にあっても、冷静に「今の自分にできることは何か」を常に自問自答しながら真剣に取り組んでいく先輩の姿を通して、看護師である前に人として自分自身がどう成長し続けるかによって、提供する看護の視点が変わり患者さんの回復にも大きく影響を与える事を学んでまいりました。

困難な状況において、「できない」ではなく「どうすればできるようになるか」。むろん結果を出すことは必要ですが、結論に導くまでのプロセスこそ成長への糧であると信じて日々精進の毎日です。

先日、ある本に出会い「未熟でいるうちは成長できる。成熟した途端、腐敗が始まる」という言葉を目にしました。私は40代半ば、年齢的には成熟している頃ですが腐敗は避けたいものです。心身ともに成熟の一手手前で成長し続ける青年の気概で取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。



納涼祭

さくら荘 ケアスタッフ 岡田 竜也

私は、先月に開催された「第18回 納涼祭」で会場の設営係を7名ほどで担当させていただきました。各模擬店の看板や資材等を会場に運び入れ、ごみ箱等の設置を行いました。入職してから今年で8年目となりますが、設営から関わらせていただくのは今年が初めてでした。今までは入所者の方の誘導を主に担当しておりましたので、全てが新鮮に感じられました。

当日はにわか雨が降り、屋外で開催できるか心配されましたが、直前に雨が上がり、何とか予定通り開催する事が出来ました。

復興支援として石巻焼きそばや牛タン入りつくね、お饅頭を模擬店にて販売しており、長蛇の列ができるほど大盛況でした。また、雨上がりで湿度も高く、体を冷やそうと、かき氷やドリンクコーナーも盛況でした。

開催中は強く雨が降る事もなく、また事故等もありませんでした。無事に納涼祭を終える事ができ、満足感と達成感を感じています。

また来年も是非関わらせていただきたいと思います。



第27回 「健康を守る教室」

テーマ：『転倒予防 要介護者にならないために』
&セラバンドを使用した体操

日時：平成25年8月24日 土曜日
13:00～14:00 (受付12:30～)

場所：新館1F ロビー

講師：理学療法士 平澤 勉

参加料：無料

お問い合わせ：受付窓口もしくは医療連携室
Tel 0587-95-0015



日本は超高齢化社会を迎えています。単に寿命を延ばすだけでなく、心身ともに自立して健康に生活することが重要です。

しかし現在、日本の要介護者は増加の一途にあります。そして、介護が必要となる要因の第5位として骨折や転倒があります。骨折や転倒は急に起こるものではなく、その前段階としての徴候があります。

皆さんは、立ったまま靴下をはけますか？また、家の中で滑ったり、躓いたりしていませんか？そんな方々には是非聞いて頂きたいと思えます。

※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

診療科表

平成25年8月1日現在

	午前 9:00~12:00														午後 5:00~7:30																		
	消化器病 センター	一応外 傷	循環器 呼吸器 総合内科 センター	運動器 形成 センター	脳卒中 脊髄 センター	神経 糖尿病 感染症 センター	ストリス 外来	子ども センター	子ども 女性疾患 センター	ペイン クリニック	皮膚病 センター	耳・鼻 疾患 センター	泌尿路 疾患 センター	眼の 疾患 センター	消化器病 センター	一応外 傷	循環器 呼吸器 総合内科 センター	運動器 形成 センター	脳卒中 脊髄 センター	神経 糖尿病 感染症 センター	ストリス 外来	子ども センター	子ども 女性疾患 センター	ペイン クリニック	皮膚病 センター	耳・鼻 疾患 センター	泌尿路 疾患 センター	眼の 疾患 センター					
月	○	○	○	※3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ※1 休診日あり ※2 祝日診療あり(9:00~11:00)
- ※3 外傷センターにて診療
- 診療時間は、診療科目により異なります
- ご不明な点がある場合は、職員にご確認ください
- 診療日が変更になる場合があります ご了承ください

機関紙 human ヒューマン 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)

2013年8月1日発行 発行年月日 2013年8月1日 350部 発行部数 350部

No.256 丹羽郡大口町新宮1-129